

みずほCustomer Desk Report 2017/06/16号(As of 2017/06/15)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	109.72 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.44	1.1214	122.73	0.9712	1.2749	0.7590
SYD-NY High	110.98	1.1229	123.70	0.9770	1.2795	0.7632
SYD-NY Low	109.28	1.1132	122.40	0.9705	1.2691	0.7568
NY 5:00 PM	110.94	1.1144	123.64	0.9755	1.2760	0.7581
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.695/8.095		△25RR	0.825	Yen Call Over	
NY DOW	21,359.90	▲14.66	債券市場			
NASDAQ	6,165.50	▲29.39	日本2年債	-0.1170	▲0.9bp	
S&P	2,432.46	▲5.46	日本10年債	0.0530	▲1.7bp	
日経平均	19,831.82	▲51.70	米国2年債	1.3514	2.0bp	
TOPIX	1,588.09	▲3.68	米国5年債	1.7632	4.8bp	
シカゴ日経先物	19,920.00	20.00	米国10年債	2.1637	3.8bp	
ロンドンFT	7,419.36	▲55.04	独10年債	0.2820	5.6bp	
DAX	12,691.81	▲114.14	英10年債	1.0310	10.4bp	
ハンセン指数	25,565.34	▲310.56	豪10年債	2.3580	▲4.4bp	
上海総合	3,132.49	1.81	為替市況			
USDJPY 3M Vol	8.12	0.05%	USD/CNH	6.8069	0.0209	
USDJPY 6M Vol	8.75	▲0.12%	ドルインデックス	97.43	0.49	
EURJPY 3M Vol	8.30	0.05%	商品市況	CRB指数	172.783	▲0.24
EURJPY 6M Vol	9.07	▲0.06%		NY金	1,254.60	▲21.30
				WTI	44.46	▲0.27
				Dubai Spot	45.63	▲1.31

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月15日	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	10:30	豪 雇用者数変化/失業率	5月 42.0K/5.5%	10.0K/5.7%
	17:30	英 小売売上高・除く自動車燃料(前月比/前年比)	5月 -1.6%/0.6%	-1.0%/1.9%
	20:00	英 BOE政策金利発表	-	0.25%
	21:30	米 ニューヨーク連銀製造業景況感指数	6月 19.8	5.0
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	237K%
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況感指数	6月 27.6	24.9
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	5月 0.0%	0.2%

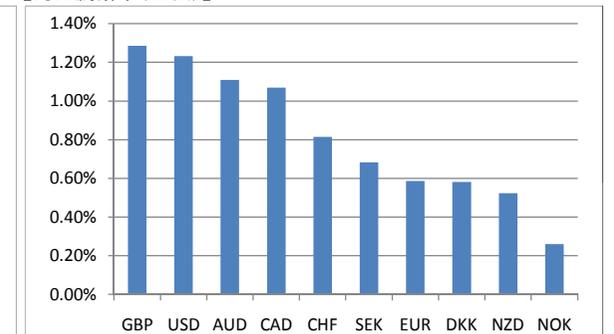
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月16日	-	日 日銀金融政策決定会合 当座預金金利	-0.10%	-0.10%
	15:30	日 黒田日銀総裁記者会見	-	-
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	5月 -0.1%/1.4%	0.4%/1.9%
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	5月 1220K/1249K	1172K/1228K
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	6月 97.0	97.1
6月17日	1:45	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	オアフア時間に前日のドル買い優勢の流れを受けて109円台後半でもみ合っていたドル円は、米ワシントン・ポスト紙が「モラー特別捜査官が司法妨害の疑いでトランプ大統領を捜査中」と報じたことを受けて一時109.28まで急落するも、その後はやや持ち直して109.44レベルで東京時間オープン。前日比マイクス圏で寄り付いた日経平均がプラス圏へ上昇する流れを受けて、ドル円も109.80まで上昇したが、仲値発表後に押し戻されて109円台半ばまで値を下げた。午後に入ってから特段目新しい材料もなく方向感に乏しい展開となったが、引け間際にかけて徐々にドル買いが優勢となり、109.69レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	本日ロンドン市場ドル円は上昇した。109.69レベルでオープン。特に注目される材料が無い中、米トランプ大統領をめぐるロシアゲート問題に関する報道を背景に上値重く109.48まで値を下げるも、米国長期債の上昇を受けドル円も値を上げ110.13レベルでNYへ渡った。ポンドドルも上昇した。1.2737レベルでオープン。EU離脱に伴い物価が上昇した事を背景に、英政府統計局が発表した5月英国小売売上指数が前月比1.2%減と予想の0.8%減を上回りポンドが売られ1.2691まで値を下げた。その後、英中央銀行が市場の予想通り政策金利を0.25%に据え置く事を決定したと伝わり1.2795まで急上昇するも、1.2768レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 丸野)
ニューヨーク	海外市場のドル円は109円台半ばで推移した後、ロンドン時間に行われた英中銀会合で政策金利据え置きが発表されたものの、反対票(利上げをすべきとの主張)が前回までの1票から3票に増えたことから、ポンド円が急伸し、ドル円も連れ高となり110.13でNYオープン。朝方発表された米6月ニューヨーク連銀製造業景況感指数が予想を上回ったことや、米金利上昇を背景にドル買いが強まると、昨日高値110.34を上抜けストップを巻き込みながらこの日の高値110.98まで上昇。午後は110.90付近での狭いレンジでの推移となり、110.94レベルでクロスした。日中は「ロシアによる大統領選挙介入疑惑を調査しているモラー特別捜査官の調査が範囲を拡大し、トランプ大統領の行動も検証する意向」との報道が伝わったが、市場への影響は限定的となった。一方ユーロは英中銀会合後のユーロポンドの下落を受けて上値の重い推移となり1.1162でNYオープン。朝方は米金利が上昇する展開にドル買いが強まると、ユーロドルは安値1.1132まで下落。しかしユーロポンドが下げ決ったことで、ユーロドルは1.1150付近まで値を戻し、1.1144レベルでクロスした。

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.10-111.40	1.1120-1.1200	123.10-123.90

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場は米経済指標の事前予想を大きく上回る結果を受けて、約2週間ぶりの水準までの上昇を示した。本日のドル円相場はやや軟調な展開を予想する。本日は日銀金融政策決定会合の結果公表が予定されているが、為替相場への影響は限定的となる。金融政策については市場コンセンサス通りの現状維持が予想される一方で、総裁会見での出口戦略への言及について注目が集まっている。日銀は出口戦略について市場との対話を重視する姿勢に方針変換を図りつつあり、今までは異なった表現による説明が行われる可能性は高い。しかしながら、現段階で踏み込んだ説明を行い市場にサプライズを与える必要もないと考えられる。具体的内容への言及には至らず結果として為替相場への影響は限定的となるだろう。他方、一昨日の下落から現水準まで上昇した現状では実需勢の売りや週末を前にした短期勢の利食いが入り易いと考えられ、ドル円相場は上値重く推移することを予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 島田・岡本